



2026年 4月 1日

株式会社 IHIプラント
社 長 青木 亮治

2026年度 安全衛生・健康管理方針

I. 基本方針

多様なワークフォースによる持続的成長を支える安全・健康基盤の構築

II. 管理目標

1. 【安全衛生管理】

- ・ 危険源レベルA、Bによる休業災害 : ゼロ
- ・ 重篤な熱中症災害(Ⅲ度以上) : ゼロ

2. 【健康管理】

- ・ 従業員エンゲージメント(活躍社員の割合増加) : 1%向上
- ・ 睡眠:「睡眠で休養が十分とれていると感じられる人」の割合 : 1%以上増
- ・ 運動:「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上実施する人」の割合 : 1%以上増

III. 重点施策

【安全衛生管理】

「安全衛生マネジメントシステム」、「一人ひとりの安全行動」両面の強化による安全基盤構築

1. 労働安全衛生マネジメントシステムの運用と定着

- (1) 全部門・全現場が一体となった、労働安全衛生マネジメントシステムに準拠したPDCAサイクルの確立
- (2) 法令遵守体制の強化
- (3) 監査体制の実効性向上

2. 危険源をベースにしたリスクアセスメントへの取組み強化

- (1) リスクアセスメントの継続的運用と実態把握の強化
- (2) リスク低減対策の実効性向上と教育の充実

3. 一人ひとりの安全行動の強化と「相互啓発型」安全文化の醸成

- (1) 安全五原則を実践する
- (2) 変化に揺るがない「相互啓発型」安全文化の構築
- (3) 未熟練労働者に対する教育や指導員によるケアを充実させ「危険予知レベルの向上」を図る

4. 熱中症による重篤災害撲滅

- (1) WBGT値に基づき作業時間と休憩時間を管理し、熱中症予防に務める
- (2) 熱中症予防対策の計画策定と報告を適切に実施させる体制を整備し、その内容を関係者全員に周知
体調不良者は熱中症とみなし直ちに救急車を要請し医療機関(病院)へ搬送

5. 試運転時の災害防止

- (1) 試運転計画段階から建設チームと試運転チームが連携し、全体で安全管理を徹底
- (2) 受電後・試運転開始後の管理体制と作業調整方法の明確化、立入禁止措置の確実な実施
- (3) 試運転従事者への教育(役割・責任の明確化、現場掲示による見える化)と、リスクの共有

【健康管理】

「個人の健康増進」、「組織の活性化」を柱とする全社健康支援体制のレベルアップ

1. 個人の健康増進:就業年齢の延伸を見据えた情報提供と環境整備

- (1) 今と将来の活力を高めるための睡眠・栄養・運動・禁煙、性別特有の健康、
治療と仕事の両立支援などの知見の普及
- (2) 自然と活力が高まり健康となる就業環境の整備

2. 組織の活性化:人事と連携したエンゲージメント向上施策の展開

- (1) ストレスチェックやエンゲージメントサーベイ等の結果を活用した組織改善の実効性向上

3. 健康支援体制の整備

- (1) 対話に基づく相互支援体制の強化
- (2) 有害業務管理のガバナンス強化

ご安全に！ ご健康に！